

平成26年度

事業報告書

平成27年6月20日

特定非営利活動法人八幡浜元気プロジェクト代表理事 濱 田 規 史

目 次

1 . 法人としての成果	1
2 . 事業の成果	
(1) つながり事業	2
(2) まち育て事業 プロジェクト	3
(3) まち育て事業 プロジェクト(2)	4
(4) まち育て事業 中間支援事業	5
3 . 事業の実施に関する事項	
. (1) つながり事業	6
. (2) まち育て事業	7
. (3) まち育て事業 中間支援事業	9
. (4) その他の事業	11
4 . 計算書類	
. (1) 貸借対照表	12
. (2) 財産目録	13
. (3) 活動計算書	14
(4) 財務諸表の注記	16
5 . 監査報告書	17

平成26年度事業報告書

平成26年6月19日～平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人八幡浜元気プロジェクト

法人としての事業の成果

私ども、特定非営利活動法人八幡浜元気プロジェクト（以下YGP）は、「人の元気を、まちの元気につなげる」をスローガンに掲げ、「住民参加」と「地域資源活用」を図りながら、26年度も事業を行ってまいりました。特に、以下の3つのテーマについては、理事が中心となり、会員を巻き込みながらその実現に向けて動いてまいりました。

（1）中間支援事業の体制強化

みなと交流館等指定管理業務及び単独にて、中間支援に係るアドバイス、講師派遣等を積極的に行いました。しかしながら、連携や業務改善に対するコミットメントが不足し、可視的成果に結び付けられませんでした。

（2）88プロジェクトを核にした独自事業の継続

88プロジェクトについては、YGPの主力事業として取り組んできたものの、関与するメンバーが不足していたことや目標設定が甘かったこともあり、製品化を果たすことができませんでした。

しかしながら、一方でスマイルプロジェクトについては、松山在住のメンバーを中心に団結。「八幡浜笑人」を広域版「笑人」としてリニューアルするため動き出すことができたことは、距離を超えてプロジェクトを運営するモデルとなり、他事業等にも参考になりました。

（3）会員の強みを引き出し、活用した法人経営の構築

メンバー名簿に基づき、本人が目指す方向性（目標など）やYGPでの将来的役割等を意識した戦略的な関与ができませんでした。適宜理事が個別フォローを行ったことで、メンバーの成長を一定促すことができました。

また、YGPの事業・活動が外部へ伝わっていない（何をしているのかわからない）という課題も発生しました。理事者はもとより、メンバーそれぞれが自分たちの活動を伝え切れておらず、またそのためのツールが不足していました。

総じて、事業に対する目標設定が甘く、振り返り（チェック）の機会が設けられていないことや、理事者を中心にした正会員等メンバーの育成・フォローの体制が十分ではありませんでした。

上記計画の達成度については、まだまだ満足できるレベルにはなく、引き続き、その実現に向けて、理事会をはじめとした内部管理体制の基盤づくりを強力に取り組んでいく必要があると考えています。

平成26年度事業報告書

平成26年6月19日～平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人八幡浜元気プロジェクト

1 事業の成果

(1) つながり事業（特定非営利活動に係る事業）

① 地域活動団体交流会の開催

アウト
プット
平成26年12月28日、八幡浜市松柏（眞田井事務所）にて、YGPメンバー9人と他団体9人にて研修会・交流会を開催しました。SWOT分析による強みを活かした戦略立案などを中心に、お互いの組織を見つめ直す機会になりました。また他団体からの参加者には、最近加わった人もおり、参加団体相互でつながりを持つきっかけになりました。

アウト
カム
しかしながら、研修プログラム上、スムーズな運営ができていないところもあり、今後改善が必要だと感じました。

他団体からの参加を受け入れることで、メンバーにとって、他団体がどのような活動をしていて、どんな強みがあるのか、これからどんな目標を持っているかなどを知ることができました。それにより、私たちと連携できる部分も見出すことができ、今後、事業を行っていく際に、新たな可能性が広がりました。また、メンバーにとって他団体の活動は刺激があり、今後のYGPの活動を続けるエネルギーになりました。

② オチャップ（まち育て意見交換会）

アウト
プット
まちについてざっくばらんに語り合う会議を実施。1月に開催した「八幡浜のミライを語ろう！」では子どもたちの思い、考えを知れるようなテーマで開催しました。3月に開催した「伝説の銭湯、大正湯で語る」では、銭湯を貸切って足湯をしながら地域の過去、未来について語り合いました。

1月の会では、他の行事と重なった事や、PR不足により、メインのターゲットにしていた子どもの参加がなかったですが、3月の会ではいろいろな年代の方に参加をしていただき、まちについての思い等を語り合うことができました。

※オチャップとは・・・お茶を飲みながら、ワークショップ（話し合い）をする、という造語です。

アウト
カム
他事業、イベントの参加などにもつながったことから、「きっかけ」や「つながり」、「気づき」の場として一定の成果を感じることができました。今後も場所、テーマなど誰もが魅かれるようなものを検討していきたいです。

1月の会のように子どもたちの思いを聴ける機会を作ることや、シリーズ性を持たせた会の運営を行っていきたいと思います。

また、オチャップで集まった意見は「オチャップボックス」（仮称）としてYGP内でデータベースを蓄積していき、今後の事業に活かしたいと考えています。

③ 「Knockn Rollえひめ実行委員会」へのメンバー派遣

アウト
プット
同実行委員会に濱田・眞田井・市川・平田を派遣。濱田は実行委員長、市川は事務局チームリーダーとして新規組織の立ち上げに注力しました。

平成26年8月16日・17日（土・日）、一泊二日大洲青少年交流の家にて79名の参加者を集め実施。200のプロジェクトが誕生し、8つのプロジェクトチームが結成、現在、3チームが動いています。

愛媛県全域を舞台にした事業への派遣であったため、会議等の中心が中予地区になってしまい、意思疎通等の連携や、短期間の準備期間に対して、内容が多すぎたため、一部のメンバーに負担が偏ってしまうなど課題も残りました。

※KnocknRollえひめとは・・・

2020年には四国は全国に先駆けて高齢者人口が全人口の3分の1に達成すると言われていています。それ故、四国は日本全体の課題“先進”事例であるとも言えます。これを解決するために若者自ら動き、プロジェクトの実績を積み重ねていくことは、課題“解決”先進地として全国に発信していけるものになると考えました。

そこでまずは愛媛から地域や人を巻き込んでいける仕組みを作り、他地域でも応用可能なロールモデルとして確立していきたいと思い、東中南予でまちづくり等活動をしている仲間を中心にKnocknRollえひめ実行委員会を立ち上げました。

アウト
カム
同実行委員会の立ち上げに積極的に関与したことで、これまでYGPが蓄積してきた「まち育てワークショップ」や「まち育てプレゼンテーション」及び中間支援パッケージなどのノウハウ提供を行うことができたとともに、実行委員会を通じてワークシート等の改善やプログラムの質向上が図られることになりました。また、YGPの考え方を他地域にも広めることができ、YGPの知名度向上（売り込み）にも貢献することができました。

平成26年度事業報告書

平成26年6月19日～平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人八幡浜元気プロジェクト

1 事業の成果

(2) まち育て事業（特定非営利活動に係る事業）

【 プロジェクト 】

①88プロジェクト

アウト
プット 連携先との調整や、新居浜工業高等専門学校のご協力のもと、焼き印の制作、耐久テストなどは行いましたが、年度中にかまぼこ板を活用した積み木「BOCO」の製品化は果たすことができませんでした。「BOCO本」についても同様です。「BOCOタワー」の普及については、イベント等に数多く出展しており、一定認知度が向上しました。八幡浜市のサブゆるキャラ「かまワンちゃん」の使用許諾を取得し、ラインスタンプの準備を行いました。

また、「こども・けんちく学校」において、集まったかまぼこ板についた身をきれいに削っていただく業務を、八幡浜市内の「あさひみらい株式会社」に委託し、就労支援の一端を担うことが出来、今後の仕組み作りの一部を検討することが出来ました。

アウト
カム YGPの交流会やオチャップ、イベント出店で「BOCOタワー」を実施したところ、チームワークの醸成や集中力の向上、子どもが木に触ってもらえる機会をつくることで、みなとで行われている「恋活」をはじめ、他団体からの依頼もあり、BOCOの効果及び知名度向上に繋がりました。

また、かまぼこ板回収ボックスを八幡浜みなとと新居浜市まちづくり協働オフィスに設置することができ、リサイクルの意識を高めるきっかけをつくることもできました。

その他、「あさひみらい株式会社」でも、新しい就労支援のメニューとして可能性を感じていただきました。

②クリーンプロジェクト（八幡浜市共同募金配分金助成事業）

アウト
プット イベント型としては、1回実施しましたが、開催数や一般市民への呼びかけが不十分となり、クリーンプロジェクトの原点である「住民参加」が発揮できませんでした。

サブライズ型としては、理事者やメンバー間の意識が弱く、「イベント後当たり前に掃除をする」という取り組みができませんでした。

クリーンプロジェクトグッズとして、ピブスを制作しました。軍手については、検討中の状況です。独自のゴミ分別・リサイクルルールの制定検討、資源回収方法の検討はできませんでした。

アウト
カム 地域の交流拠点である北浜公園の噴水掃除を管理者だけで行うのは困難でしたが、今回、私たちが取り組んだことで、地域の子どもたちを中心とした方々に関心を持っていただき、地域の課題解決に繋がりました。

③MIERUKAプロジェクト(仮称)

アウト
プット 今年度は、具体的な動きができませんでした。

なお、スマイルプロジェクトの延長として、各人・商店等の魅える化を検討していきます。

アウト
カム 特に何も生まれませんでした。

平成26年度事業報告書

平成26年6月19日～平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人八幡浜元気プロジェクト

1 事業の成果

(2) まち育て事業（特定非営利活動に係る事業）

④ スマイルプロジェクト

アウト
プット
スマイルプロジェクトについては、松山在住のメンバーを活用し、「八幡浜笑人」を広域版「笑人」としてリニューアルするため動き出しました。現在メンバーは、13名（うち新規サポーター会員：9名）となっており、月1回の編集会議（全体会議）及び週1回のコアメン会議を八幡浜・松山間で行っています。

現在、WEBマガジン「笑人」配信に向けて準備をしており、7月公開の予定です。

なお、任意団体YGPから委託を受けている既存笑人の販売状況については、本年度は31冊売上、現在在庫は以下の通りです。イベント等での販売活動を行いました。発行から数年経っており、単に並べる方法ではアピール力が弱く、新たなチャネル及び切り口での販売を検討しています。

1号・売上2号・770冊 2号・1611冊 1号・2690冊

アウト
カム
旧制作委員会で活躍していた元副制作委員長が帰省してきたこともあり、新たなメンバーを巻き込みながら松山メンバーで再始動を行うことができました。新聞部に所属する大学生やアドバイザーに佐藤慶一氏（現代ビジネスエディター）を巻き込み、編集体制をつくることができ、「笑人」としてのリブランディング化を図りました。

また、八幡浜に在住していないメンバーの活用を試み、距離障壁をSkypeやグループウェア等を活用しクリアしたことで、他事業の参考モデルになりました。

⑤ GENKI基金(仮称)

アウト
プット
今年度は、具体的な動きができなかった。

なお、企業のCSRの側面としての「寄付つき商品」開発については今後も中間支援パッケージの中で提案・検討を進めていきます。

アウト
カム
特に何も生まれませんでした。

平成26年度事業報告書

平成26年6月19日～平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人八幡浜元気プロジェクト

1 事業の成果

(2) まち育て事業（特定非営利活動に係る事業）

【 中間支援事業 】

① みなと交流館等指定管理業務の中間支援業務へのリソース提供

アウト
プット みなと交流館に事務局長市川を置いており、同指定管理業務を通じて中間支援業務にリソースを提供しました。理事を中心に、「強みを発見する講座」はじめ他専門講座の講師や講座運営、プログラムづくりなどに関与し、年間10回の講座開催、コーディネーション機能117件、人材育成機能11件、相談機能59件、組織基盤整備機能16件、情報収集・提供・受信機能34件、ネットワーク機能44件、評価機能12件、その他の機能17件という結果となりました（別紙みなと交流館実績表参照）。

しかし、運用面において、トライ&エラーによる現場との連携や業務改善に対するコミットメントが不足し、地域活動団体の育成やプロジェクトの立ち上げ等において可視的成果に結び付けられませんでした。

アウト
カム みなと交流館を通じた中間支援業務を担当していることで、講師やプログラムの実践の場として活用できたとともに、参加者等からの意見等を踏まえながら当法人の中間支援事業へのノウハウ蓄積やレベルアップに貢献することになりました。

また、みなと交流館と協調関係にあることで、同館業務と当法人の事業等との動きを連動させることができ、効率的・効果的な事業運営を図ることができました。

② 中間支援パッケージの作成

アウト
プット これまで行ってきた講座等を整理し、YGPが外部向けに提供できる支援メニュー（講座・プログラム等）をパッケージ化した「中間支援パッケージ」を作成しました。

しかしながら、本年度はHP等への掲載など、PR面が弱く、売り込むところまではできていなかったことから、今後YGPの武器として売り込んでいくことが必要だと考えています。

アウト
カム 個々人が持つ強みを講座化（メニュー化）する作業を通じて、個々人の能力の見える化をもって、YGP全体の力として魅せることができました。

③ 地域活動団体ポータルサイト「TUMUGU」の運営

アウト
プット 地域活動団体のポータルサイト「TUMUGU」については、みなと交流館の中間支援業務を通じて、共同運営を行っていくことになったことから、現在、現場に合わせた改変作業を行っています（運用は、7月を予定）。

アウト
カム 特に何も生まれませんでした。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

つながり事業

事業内容	目的	実施日	実施場所	従事者	受益対象者の範囲	支出額 (円)	評価		
				会員 非会員					
Knockn Rollえひめ実行委員会への派遣と実施	自分たちのノウハウを他団体に提供する。	6/19 ～ 3/31	愛媛県内および、大洲青少年交流の家	4	プロジェクトを起こしたい若者	17,920	サプライズ	5	
							チャンス	5	
							コラボ	5	
				75			シビック	3	
							合計	18	
地域活動団体交流会の開催	人・団体を知ってつながる。	12/28	真田井事務所	9	愛媛県内の地域活動団体従事者	0	サプライズ	4	
							チャンス	4	
							コラボ	3	
				9			シビック	1	
							合計	12	
オチャップ～八幡浜のミライを語ろう！～の開催 共催：みなと交流館	子どもたちと一緒に八幡浜の未来について考える。	1/31	松蔭地区公民館	5	八幡浜市民を中心にした一般住民	0	サプライズ	2	
							チャンス	3	
							コラボ	1	
				2			シビック	1	
							合計	7	
オチャップ～伝説の銭湯、大正湯で語る～の開催 共催：みなと交流館	多くの人が行きかっていた当時の八幡浜を知り、今後の八幡浜について考える。	3/8	大正湯	8	八幡浜市民を中心にした一般住民	0	サプライズ	5	
							チャンス	5	
							コラボ	5	
				10			シビック	4	
							合計	19	
							サプライズ		
								チャンス	
								コラボ	
								シビック	
								総合	
							サプライズ		
								チャンス	
								コラボ	
								シビック	
								総合	

※オチャップはみなと交流館共催事業のため支出がありません。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

まち育て事業(プロジェクト)

事業内容	目的	実施日	実施場所	従事者	受益対象者の範囲	支出額(円)	評価	
				会員 非会員			サプライズ	チャンス
BOCOタワー ～商店街夜市～	BOCOタワーの普及と、地域資源「かまぼこ板」のリサイクル・リユースの促進	7/26	新町商店街	8	夜市来場者	0	サプライズ	5
							チャンス	5
							コラボ	3
				45			シビック	3
							合計	16
クリーンプロジェクト ～北浜公園噴水掃除～	清掃活動を通じた交流事業	8/3	北浜公園	5	白浜地区を中心とした一般住民	560	サプライズ	3
							チャンス	3
							コラボ	3
				5			シビック	3
							合計	12
こどもけんちく学校にて、かまぼこ板の上に漂流物を使ってミニ秘密基地を制作 共催：(公社)愛媛県建築士会女性委員会	子どもたちに地域資源「かまぼこ板」の活用方法を具体的に提案し、リサイクル意識を向上	8/17	大島	2	八幡浜市民(特に小中学生)を中心にした一般住民	0	サプライズ	4
							チャンス	5
							コラボ	5
				36			シビック	4
							合計	19
88プロジェクト ～ユネスコ協会 地球人村～	地域資源「かまぼこ板」のリサイクル・リユースの促進・国際交流	8/24	新町商店街 新町ドーム	4	八幡浜市民を中心にした一般住民	0	サプライズ	3
							チャンス	3
							コラボ	4
				50			シビック	2
							合計	12
88プロジェクト ～かまぼこ板で遊ぼう inイオンモール新居浜～	地域資源「かまぼこ板」のリサイクル・リユースの促進	9/6	イオンモール新居浜	2	イオンモール新居浜来場者並びに新居浜市民	0	サプライズ	4
							チャンス	3
							コラボ	2
				10			シビック	1
							合計	10
88プロジェクト 鳥津蒲鉾店視察	BOCO本制作のための取材活動	9/24	鳥津蒲鉾店	1	八幡浜市内の練り物業者	0	サプライズ	3
							チャンス	1
							コラボ	3
				5			シビック	1
							合計	8

※こどもけんちく学校は(公社)愛媛県建築士会女性委員会と共催で行っているため支出はありません。

事業内容	目的	実施日	実施場所	従事者	受益対象者の範囲	支出額 (円)	評価	
				会員 非会員			サプライズ	チャンス
BOCOタワー ～北浜まつり～	BOCOタワーの普及と、地域資源「かまぼこ板」のリサイクル・リユースの促進	10/5	白浜地区公民館	11	八幡浜市民を中心にした一般住民	3,369	サプライズ	5
							チャンス	5
				40			コラボ	3
							シビック	3
							合計	16
88プロジェクト 焼印の購入と焼印の機械の製作	研究のテーマの提供及び、地域貢献の機会の提供	1/10	新居浜工業高等専門学校	4	新居浜工業高等専門学校機械工学科吉川研究室	57,672	サプライズ	3
							チャンス	3
				2			コラボ	5
							シビック	1
							合計	12
スマイルプロジェクト メンバー募集説明会の開催 (4回)	スマイルプロジェクトの再始動を図るため、松山・八幡浜地区にてメンバーを広く募る	1/25 2/8 2/22 2/24	1/25(みなと交流館) 2/8(まつやま経営交流プラザ) 2/22(みなと交流館) 2/24(まつやま経営交流プラザ)	13	プロジェクトの趣旨に賛同した一般住民他	530	サプライズ	2
							チャンス	3
				11			コラボ	1
							シビック	1
							合計	7
こどもけんちく学校にて、かまぼこ板の「椅子」を子どもたちと制作 共催：(公社)日本建築家協会四国支部愛媛地域会	子どもたちに地域資源「かまぼこ板」の活用方法を具体的に提案し、リサイクル意識を向上	2/8	みなと交流館	2	八幡浜市民(特に小中学生)を中心にした一般住民	0	サプライズ	5
							チャンス	5
				40			コラボ	5
							シビック	3
							合計	18
88プロジェクト かまぼこ板の回収活動	地域資源「かまぼこ板」のリサイクル・リユースの促進及び、リサイクル精神の向上	6/19 ～ 2/7	みなと交流館 新居浜まちづくり協働オフィス	4	八幡浜市民 新居浜市民等	0	サプライズ	4
							チャンス	5
				30			コラボ	3
							シビック	4
							合計	16
							サプライズ	
							チャンス	
							コラボ	
							シビック	
							合計	

※こどもけんちく学校は(公社)日本建築家協会四国支部愛媛地域会と共催で行っているため支出はありません。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

まち育て事業(中間支援事業)

事業内容	目的	実施日	実施場所	従事者	受益対象者の範囲	支出額(円)	評価	
				会員 非会員				
自分の強みとは!?自分発見講座!の開催	YGPのリソースの提供	6/19	八幡浜みなとみなと交流館	1	みなと交流館及び参加者	0	サプライズ	3
							チャンス	3
							コラボ	2
							シビック	2
							合計	10
自分の強みを発見する講座の開催	YGPのリソースの提供	7/27	八幡浜みなとみなと交流館	1	みなと交流館及び参加者	0	サプライズ	2
							チャンス	2
							コラボ	2
							シビック	1
							合計	7
自分の強みを発見する講座の開催	YGPのリソースの提供	8/28	八幡浜みなとみなと交流館	2	みなと交流館及び参加者	0	サプライズ	2
							チャンス	2
							コラボ	2
							シビック	2
							合計	8
自分の強みを発見する講座の開催	YGPのリソースの提供	9/27	八幡浜みなとみなと交流館	2	みなと交流館及び参加者	0	サプライズ	2
							チャンス	2
							コラボ	2
							シビック	2
							合計	8
自分の強みを発見する講座の開催	YGPのリソースの提供	10/26	八幡浜みなとみなと交流館	2	みなと交流館及び参加者	0	サプライズ	2
							チャンス	2
							コラボ	2
							シビック	2
							合計	8
まち育て研修会 NPOの広報力向上講座の開催	YGPのリソースの提供	11/15	八幡浜みなとみなと交流館	2	みなと交流館及び参加者	0	サプライズ	3
							チャンス	3
							コラボ	3
							シビック	3
							合計	12

事業内容	目的	実施日	実施場所	従事者	受益対象者の範囲	支出額 (円)	評価	
				会員 非会員				
まち育て研修会 相手をグッと引き寄せる プレゼン講座の開催	YGPのリソースの提供	1/25	八幡浜みなと とみなと交流館	2	みなと交流館及び参加者	0	サプライズ	3
							チャンス	3
							コラボ	3
				8			シビック	3
							合計	12
あなたとつながるまちの活動 地域活動団体交流会&ドネーション パーティの開催	YGPのリソースの提供	2/21	八幡浜みなと とみなと交流館	3	みなと交流館及び参加者	0	サプライズ	4
							チャンス	4
							コラボ	4
				40			シビック	4
							合計	16
強みを発見する講座で 誕生したプロジェクトへの アドバイス	YGPのリソースの提供	随時	八幡浜みなと とみなと交流館他	2	プロジェクト提案者	0	サプライズ	3
							チャンス	3
							コラボ	4
				3			シビック	4
							合計	14
中間支援パッケージ作成 検討会の実施	外部向け支援メニューの 作成とYGPのリソースの 明示化	随時	八幡浜みなと とみなと交流館	3	みなと交流館職員及び 一般市民	0	サプライズ	3
							チャンス	3
							コラボ	3
				2			シビック	2
							合計	11
							サプライズ	
							チャンス	
							コラボ	
							シビック	
							合計	
							サプライズ	
							チャンス	
							コラボ	
							シビック	
							合計	

※みなと交流館との共催事業のため支出はありません。

2事業の実施に関する事項

その他の事業

本年度は行っていない。

様式例（法第28条第1項関係「前事業年度の貸借対照表」）

平成26年度 貸借対照表

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人八幡浜元気プロジェクト

科 目	金 額（単位：円）		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	960		
普通預金	24,495		
流動資産合計		25,455	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
3 繰延資産			
創立費	61,497		
繰延資産合計		61,497	
資産合計			86,952
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	128,196		
固定負債合計		128,196	
負債合計			128,196
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増減額		△ 41,244	
正味財産合計			△ 41,244
負債及び正味財産合計			86,952

（備考）

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。

様式例（法第28条第1項関係「前事業年度の財産目録」）

平成26年度 財産目録

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人八幡浜元気プロジェクト

科 目 ・ 摘 要	金 額 （単位：円）		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金（現金手許有高）	960		
普通預金（愛媛信用金庫八幡浜支店）	24,495		
流動資産合計		25,455	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			25,455
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	128,196		
固定負債合計		128,196	
負債合計			128,196
正味財産			-102,741

（備考）

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。

平成26年度 活動計算書

平成26年6月19日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人八幡浜元気プロジェクト

科 目	金 額 （単位：円）		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	0		
設立パーティ会費収入	34,877		
その他会費収入	3,772		
		38,649	
2 受取寄附金			
受取寄附金	15,000		
受取諸謝金	23,000		
		38,000	
3 事業収益			
つながり事業収入	0		
まち育て事業収入	7,490		
		7,490	
4 その他の収益			
活動支援金収入	22,883		
雑収入	47,790		
		70,673	
経常収益計			154,812
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
景品費	22,519		
支払手数料	756		
備品購入費	56,916		
通信運搬費	6,760		
会議費	530		
支払保険料	2,800		
消耗品費	11,829		
寄付金	23,920		
諸謝礼	4,320		
食材費	830		
CDレンタル料	345		
印刷製本費	23,760		
参加賞作成費	2,565		

施設利用料	2,000	162,250	
日曜日出店費	1,000		
雑費	1,400		
その他経費計	162,250		
事業費計			
2 管理費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(1)その他経費			
支払手数料	324		
会議費	3,170		
HP管理費	16,200		
ボーイスカウト賛助会員費	1,000		
支払利息	5		
渉外活動費	210		
通信運搬費	202		
消耗品費	9,242		
繰延資産償却	3,453		
その他経費計	33,806		
管理費計		33,806	
経常費用計			196,056
当期経常増減額			△ 41,244
当期正味財産増減額			△ 41,244
前期繰越正味財産額			
次期繰越正味財産額			△ 41,244

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

(備考)

1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 繰延資産の処理方法
創立費は、5年間で均等償却しております。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位：円)

科 目	つながり事業（注1）	まち育て事業（注2）		事業部門計	管理部門	合計
		中間支援事業	プロジェクト型事業			
I 経常収益						
1. 受取会費	0			0	38,649	38,649
2. 受取寄付金				0	38,000	38,000
3. 事業収益	0	0	7,490	7,490	0	7,490
4. その他の収益				0	70,673	70,673
経常収益計	0	0	7,490	7,490	147,322	154,812
II 経常費用						
(1) その他経費						
景品費	3,369		19,150	22,519		22,519
研修費	0			0		0
支払手数料	756			756	324	1,080
備品購入費	56,916			56,916		56,916
通信運搬費			6,760	6,760		6,760
会議費	530			530	3,170	3,700
スポンサー料			0	0		0
支払保険料			2,800	2,800		2,800
消耗品費			11,829	11,829	9,242	21,071
寄付金			23,920	23,920		23,920
諸謝礼			4,320	4,320		4,320
食材費			830	830		830
CDレンタル料			345	345		345
印刷製本費			23,760	23,760		23,760
参加賞作成費			2,565	2,565		2,565
施設利用料			2,000	2,000		2,000
日曜市出店費			1,000	1,000		1,000
雑費			1,400	1,400		1,400
HP管理費				0	16,200	16,200
ボーイスカウト賛助会員費				0	1,000	1,000
支払利息				0	5	5
渉外活動費				0	210	210
通信運搬費				0	202	202
創立費償却				0	3,453	3,453
その他経費計	61,571	0	100,679	162,250	33,806	196,056
経常費用計	61,571	0	100,679	162,250	33,806	196,056
当期経常増減額	△ 61,571	0	△ 93,189	△ 154,760	113,516	△ 41,244

(注1) つながり事業（住民・団体・企業等の交流促進を目的とした事業）

- ・ 地域活動団体交流会・忘年会、レクリエーションの実施
- ・ オチャップ（まち育て意見交換会）の開催
- ・ 実行委員会等への委員派遣

(注2) まち育て事業（地域を”育てる”視点で実施する事業）

- (一) 中間支援事業
 - ・ 中間支援パッケージによる独自支援
 - ・ みなと交流館へのリソース提供
 - ・ 地域活動団体ポータル「TUMUGU」の運営

(二) プロジェクト型事業

- ・ クリーンプロジェクト
- ・ 88（ハチハチ）プロジェクト
かまぼこ板を活用した積木（BOCO）の製品・製本化、BOCOタワーの普及
- ・ スマイルプロジェクト
八幡浜で”笑顔”の素敵な人を紹介した情報誌「八幡浜笑人」の販売受託

(注3) その他の収益

- ・ 渉外活動に係る物品販売収入
- ・ 資源回収による収入
- ・ 活動に対する支援金

3. 借入金の増減内訳

借入金の増減は以下の通りです。

借入金はすべて任意団体YGPからのものであり、88プロジェクト（かまぼこ板の焼き印代）及びロゴ作成等に充当する目的で借入れております。

(単位：円)

科 目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金（任意団体YGP）	0	128,196	0	128,196

4. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科 目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
正会員受取会費（10名）	0	0
	0	0

5. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・ 重要な後発事象

平成27年6月2日に正会員から会費（平成26年度）を徴収することが決定いたしました。

会費は1人あたり年間3600円で、10名から徴収しました。

・ 繰延資産

創立費は主に法務局での登記費用から構成されており、YGPの活動において不可欠な支出であるため、

その効果が将来にわたって発現するものとして、繰延資産に計上しております